

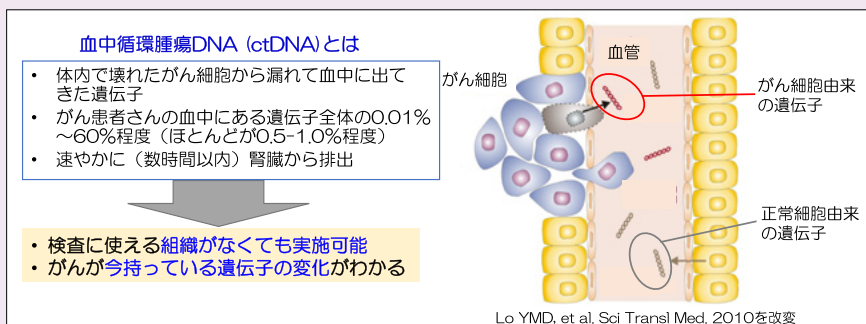
がんセンターNEWS

Aichi Cancer Center News

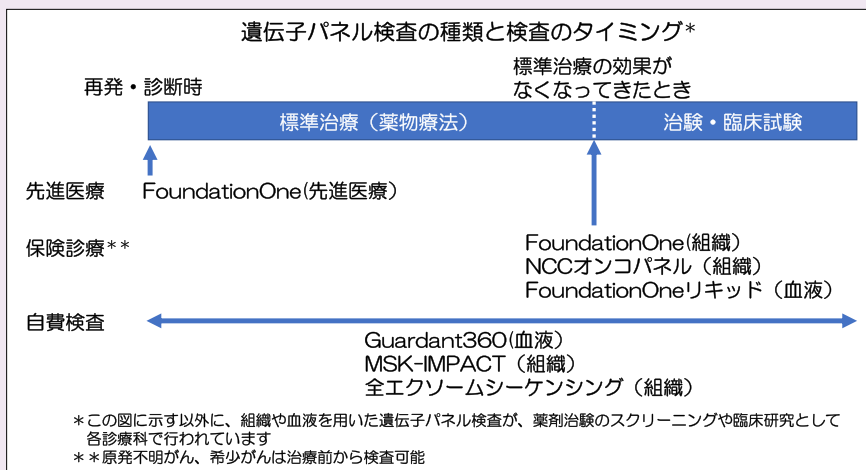
血液を用いた遺伝子パネル検査 (FoundationOneリキッド) が開始されました

遺伝子パネル検査は、がんに関連する数百の遺伝子の異常を評価し、遺伝子異常に応じた治療が行えないかについて調べる検査です。保険診療では、これまで2種類の検査 (NCCオンコパネル、FoundationOne) が承認されていましたが、いずれの検査もがん組織が必要なため、十分ながん組織がない患者さんでは検査ができない問題がありました。

近年、がん細胞から血液中に漏れ出る遺伝子 (血中循環DNA: ctDNAと呼びます) を調べる技術が開発され、遺伝子パネル検査にも応用されるようになりました (図1)。当院では、これまでGuardant360と呼ばれるctDNA検査法を自費診療として行ってきましたが、8月よりFoundationOne Liquid CDx がンゲノムプロファイル検査 (以下FoundationOneリキッド) が保険適用されました。これにより、これまで十分ながん組織がないため遺伝子パネル検査が行えなかった患者さんにも検査を行えるようになります。がん組織を使った検査と血液中のctDNAを調べる検査の有用性は同程度とされていますが、現時点では血液を使った遺伝子パネル検査は、十分ながん組織のない方が対象です。



(図1)



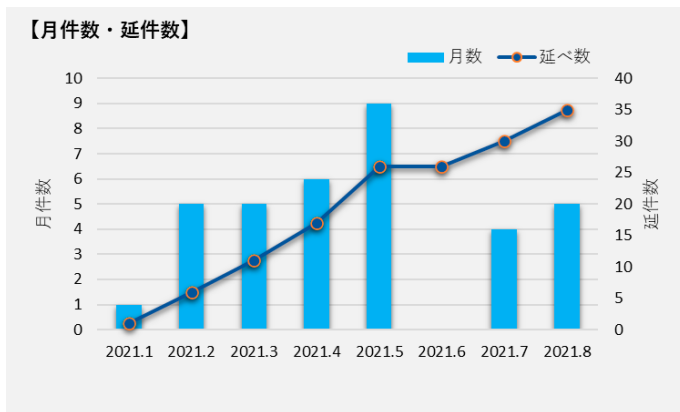
(図2)

また、保険診療では、組織検査、FoundationOneリキッドのいずれも、標準的な治療が効きにくくなった患者さんを対象としています。遺伝子の異常を早めに把握することで、治験などの新たな治療を提供できる可能性が高くなることから、当センターでは、先進医療や自費診療で行う遺伝子パネル検査も提供しています (図2)。詳しくお知りになりたい方は、気軽にお問い合わせください。



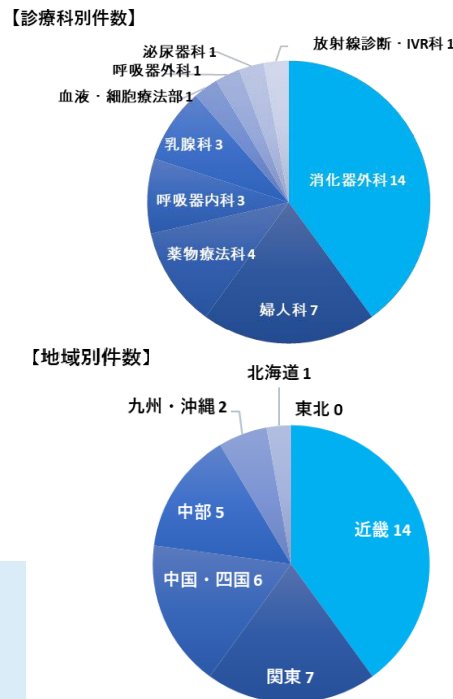
愛知県がんセンターでは 2020 年 12 月末より、オンラインセカンドオピニオンを開始しております。年間約 1,200 名の患者さんが当院のセカンドオピニオンを利用されますが、コロナ禍であっても、患者さんが安心して受診できるよう、がん専門病院としての使命と責任を果たすべく、オンラインも選択できるよう整備しました。事前に、紹介元医療機関より紹介状や画像データ等を郵送していただき、対面の場合と同じようにカルテを作成します。患者さんは、スマートフォンがつながる静かな場所であれば、どこからでも相談することができます。

遠方にお住いの患者さん 外出が難しい患者さん 等



実際始めてみると、患者さんからは「対面よりも話しやすい」「緊張せず質問できた」等のご意見をいただきました。【診療科別件数】では、消化器外科（特に胆管癌の手術に関する相談）、婦人科、薬物療法科、呼吸器内科、乳腺科への相談が多く、【地域別件数】では、北は北海道、南は沖縄県まで、全国各地からの相談がありました。

患者さんの目的は、手術適応の有無や、治験に関すること、今後の治療方針の相談等さまざまです。治療上の気になっていることを相談し、がん専門病院医師の意見を得ることで、同じ意見であったとしても病气や治療への理解がより深まり、納得して治療にのぞむことにつながる場合があります。まずは現在、おかけの主治医へご相談ください。



料金(保険適用外):27,500 円(税込)／30 分
 ※スマートフォン、クレジットカード、医療機関からの申込みが必要です。
 (診療アプリ curon のダウンロード(無料)が必要です(利用料 300 円/回。))

【お問い合わせ先】

愛知県がんセンター 地域医療連携・相談支援センター

(オンラインセカンドオピニオン担当) TEL:052-764-9818

★詳細はお問い合わせいただくか、当院ホームページにてご確認ください。

https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/01annai/second_online/index.html



当院のがんサロンについて



緩和ケアセンター

がんサロンでは、患者さんが治療や生活の中で困ることについて医療者と考える「サロンdeセミナー」と、患者さんやご家族が悩みや体験を語り合う「交流会」を、毎月1回ずつ（第1、第3火曜日）開催しています。

交流会とは、患者さん同士が語り合う中で、共感したりお互いの生きる力を引き出していく場です。「こんな気持ちになるのは自分だけ?」「他の患者さんはどうしているの?」など、同じ立場だからこそ分かり合えることがあります。参加された方は「話せて気持ちが楽になった」「みんな同じだと思えた」と、笑顔になられます。そのような場所を提供することは、患者さんやご家族への大切なサポートだと感じています。

昨年は新型コロナウイルスの流行により交流会を休止していましたが、今年度からWeb開催で再開しました。当院に通院中の外来患者さん、ご家族を対象とし、参加者からは「交流する場があるだけで安心する」という声をいただいております。11月には特別企画で「育児中のがん患者さんの交流会」を予定しています。子どもへのサポートが十分でない状況の中、まずは子どもを持つ患者さんやご家族が交流できる場を提供したいと考え企画しました。興味のある方はホームページや院内掲示物をぜひ覗いて下さい。今後も安全・安心で、参加してよかったと思える交流会を開催していきたいと考えています。

がん性疼痛看護認定看護師 佐藤 好



「サロンdeセミナー」のようす



「交流会」のようす

※患者さんには撮影に同意いただいております。

「愛知県がん診療連携協議会」を開催しました

愛知県がんセンターは、愛知県で唯一の都道府県がん診療連携拠点病院として、県内で中心的役割を果たし、専門的ながん医療を提供するとともに、県内のがん診療の連携協力体制の整備やがんに関する相談支援情報の提供を担っており、国の主催する「第14回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」に出席しました。

それに伴い、名古屋大学医学部附属病院始め愛知県内のがん診療連携拠点病院等である27病院で構成した「愛知県がん診療連携協議会」を、2021年8月10日（火）に、当センターを議長としてWeb会議で開催しました。

会議では、「都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」の結果報告や、協議会傘下の6つの部会の活動報告、「院内がん登録でみる愛知県のがん診療（施設別集計）」についての報告を行い、情報交換を行いました。

また、愛知県からのがん診療連携拠点病院に関する目標達成状況報告や名古屋市から妊よう性温存治療費助成制度変更の連絡もあり、有意義な会となりました。



とうろく医探訪

Produced by
地域医療連携・相談支援センター
No.21

わきたクリニック 院長:脇田 利明 先生



愛知県がんセンターの皆様には、日頃より病診連携や診療情報提供などで大変お世話になり、ありがとうございます。

わきたクリニックは、金山総合駅北口出てすぐ（地下鉄金山駅3番出口から直結）大津通り沿いの長谷川ビル4階に泌尿器科専門クリニックとして、2011年10月21日より診療を行っております。私自身も開院までの10年間を愛知県がんセンター泌尿器科部のスタッフとして、数多くの前立腺がん、膀胱がん等の泌尿器がんの診療に携わらせていただきました。当院では前立腺肥大症、排尿障害、尿失禁、尿路結石等の一般的な泌尿器疾患の診断治療だけでなく、がんセンターでの経験を活かし、現在も前立腺がん、膀胱がん等の検査、診断、治療も積極的に行っています。特に前立腺生検は外来での局所麻酔下経会陰的前立腺生検で安全に行っています。また、血尿など膀胱がんの診断は即日膀胱内視鏡検査、生検をしています。日頃より泌尿器がんの早期発見を目標とし安全で正確、迅速な検査診断に心がけて診療に当たっています。

いつも患者様のご紹介の際には、愛知県がんセンターの病診連携を通し迅速に、泌尿器科を含めた各科の先生方に対応していただき大変感謝しております。今も続くこのコロナ禍の中、愛知県がんセンターとの病診連携を行いながら、少しでも患者様のお役に立てればと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

【医療機関情報】

わきたクリニック

診療科目/泌尿器科

電話/TEL 052-322-1022

所在地/〒460-0022

愛知県名古屋市中区金山1丁目14-9

長谷川ビル4F

ホームページ/<http://wakita-clinic.jp/index.html>



★金山総合駅より屋内続きで行くことが可能です。

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前	9:00-13:00	○	○	○	/	○	○	/
午後	16:00-18:30	○	○	○	/	○	/	/
【休診】木曜、土曜午後、日曜、祝日								



編集後記：金山総合駅の目の前、しかも地下鉄金山駅3番出口と直結している好立地にある、泌尿器専門クリニックです。白と茶を基調とした内装が、清潔感があり安心感を与えてくれます。泌尿器がんの診断以外にも、前立腺がん検診や、がん以外の泌尿器疾患（排尿障害や尿路性器感染症、勃起障害（ED）等）の診断や治療にも幅広く対応しております。当院へは泌尿器がんの患者さんをご紹介いただいている他、前立腺がん術後地域連携パスによる共同診療も実施しております。今後ともよろしくお願いいたします。Y.SANO

エクソソーム制御によるがん治療を目指して

研究所 腫瘍制御学分野



腫瘍制御学分野長
小根山 千歳

私たちの体の細胞は、様々な伝達物質が詰まった「エクソソーム」と呼ばれる小さなカプセルのようなものを放出し、他の細胞と情報のやり取りを行なっています。エクソソームを受け取った細胞は、それに含まれる伝達物質に応じて、その振る舞いを調整しています。がん細胞が放出するエクソソームは、その数も多く、さらに中身の物質も変化していることがわかってきました。つまり、がん細胞はエクソソームを使って、自身が生き延びやすい環境を作っている

のです(図1)。しかし、がん細胞がどのようにエクソソームを変化させているのかはほとんど知られていません。私たちは、がん細胞で活性化しているSrcという分子が、エクソソームに取り込まれるとともに、その形成を促進していることを見つめました(図2)。また、それをヒントに、エクソソームを可視化する方法を開発しました。最近では、その手法を応用し、エクソソームの生産を抑制する阻害剤を見出しています。興味深いことに、エクソソームが放出できないがん細胞は、増殖も抑えられることがわかりました。このメカニズムを明らかにすることで、新たながん治療・予防の開発につなげたいと考えています。

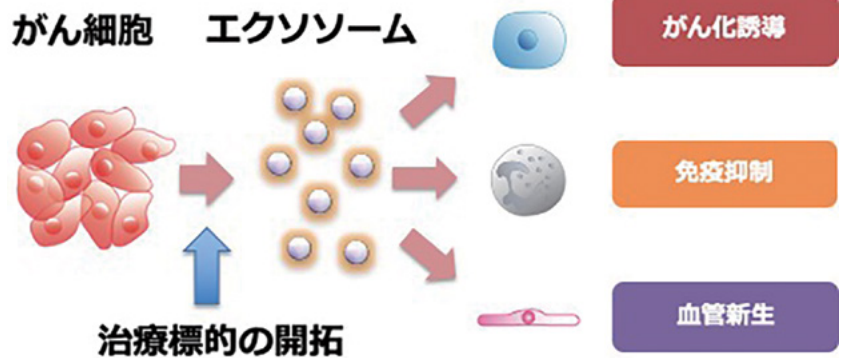


図1 エクソソームとがん進展

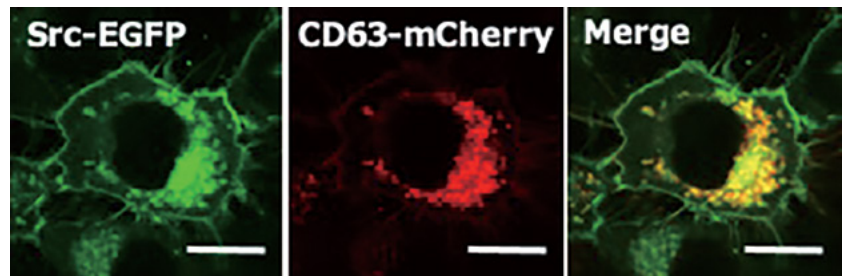


図2 Srcがエクソソームの産生場所に集まっている様子

研究所 バイオバンク部門 スタッフの紹介

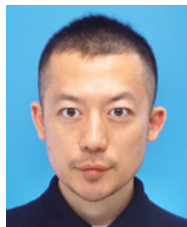
キャンサーバイオバンク愛知(CBBA)は2017年に設立されました。以後、多くの患者さんよりご提供いただいた血液(生体試料)と、治療や検査の記録(診療情報)を、厳重に保管・管理しています。これらを用いたがんの予防・診断・治療にわたる多くの研究開発の成果は、未来のより良い医療につながることを期待されます。本年度中にCBBAの生体試料と診療情報を利用した研究が、愛知県がんセンター内で開始される予定です。



写真：前列左より2番目 中田舞(技師)、3番目 松尾恵太郎(部門長)、他スタッフ一同

婦人科がんと遺伝性腫瘍

病院 婦人科部



婦人科部 医長
坪内 寛文

一般にがんの約1割が遺伝と関連しているとされていますが、卵巣がん（卵管がん、腹膜がんを含む）では約15%が遺伝性と考えられています。遺伝性卵巣がんには様々な種類がありますが、代表的なものとして「遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）」が挙げられます。HBOCの患者さんは、早い場合は30代で卵巣がんを発症するため、治療負担のみならず、その後の社会生活に大きな影響を及ぼします。乳がんを発症した患者さんが、卵巣がんを発症する前に予防的に卵巣（卵管）を摘出する「リスク低減卵管卵巣摘出術（RRSO）」が2020年4月に保険適用となりました。当院は乳がん症例数が多く、現在までに保険診療下に36件を実施しております（原則腹腔鏡下）、これは全国有数の症例数です。乳腺科や形成外科手術との合同での保険診療下でのRRSOの症例経験やノウハウも蓄積されてきています。自費診療（乳がん未発症者のHBOCの患者さんが対象）におけるRRSOについても対応しています。

また、子宮体がんのうち約5%がリンチ症候群という遺伝性疾患であることが判明しているため、当科では昨年より子宮体がんの患者さんに対して、手術時（もしくは初回治療時）にリンチ症候群についてのユニバーサルスクリーニング（リンチ症候群の疑いがある患者さんを拾い上げる検査）を開始しました。

従来より行っている最先端のがん治療はもとより、院内遺伝部門（リスク評価センター、遺伝子病理診断部）と連携し、遺伝性腫瘍への対応を充実させています。

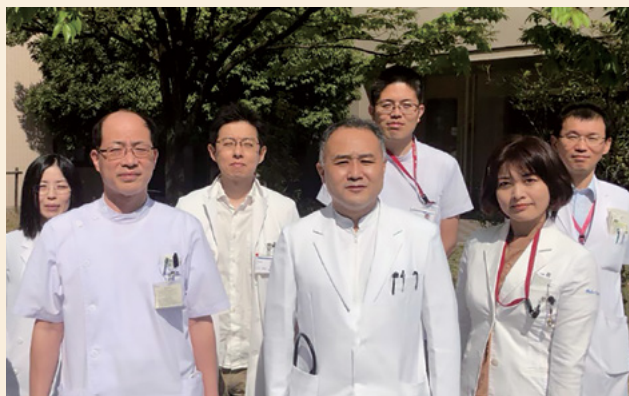
ACC婦人科部 スローガン



202104

呼吸器内科部 スタッフの紹介

呼吸器内科部では肺がん、胸膜中皮腫、縦隔腫瘍など胸部悪性腫瘍の診断と内科的治療を担当しています。胸部CTによる肺がん早期診断から呼吸器外科部、放射線治療部と連携した集学的治療、進行がんではがんゲノム医療とがん免疫チェックポイント療法に力を入れています。標準治療だけでなく治験、臨床試験も提案します。専門性の高い最適な医療を提供するために多職種の医療スタッフと協力して診療にあたっています。



写真：後列左から、重松文恵（レジデント）、山口哲平（医長）、渡辺尚宏（医長）、清水淳市（医長）
前列左から、堀尾芳嗣（医長兼外来部長）、藤原 豊（部長）、大矢由子（医長）

生検検査で確実に腫瘍細胞をとるために —迅速細胞診検査(ローズ法)—

病院 遺伝子病理診断部



遺伝子病理診断部長

細田 和貴

近年のがん治療の進歩は目覚ましく、腫瘍細胞がもつ遺伝子やタンパク質などの分子異常に対する治療薬が数多く登場しました。これに伴い個々の腫瘍に対し分子検査を行い、検出された分子異常に応じた治療が選択される個別化医療の時代が到来しています。当院ではこの個別化医療を多くの患者さんに届けられるよう数々の取り組みを行っており、今日はその一つである、生検検査の際に行われる迅速細胞診検査（Rapid onsite cytology evaluation: ROSE）について紹介します。

生検検査でとれる組織は小さく、さらにその中に含まれる腫瘍細胞はわずかで、しばしば腫瘍細胞の少なさが分子検査の支障となり、場合によっては再度の生検検査の必要が生じます。ローズ法はこの問題を解決するために生み出された手法で、主治医が病変のどの部位を生検すれば腫瘍細胞が多く取れるかを、検査中に知らせるものです。取れた組織をプレパラートに擦過し、迅速染色法で染色し、顕微鏡で観察します。細胞検査士や病理医が、腫瘍細胞が取れているかどうか評価し主治医に報告します。主治医はそこから更に組織を採取します。ローズ法を併用した生検検査からは、病理診断、腫瘍遺伝子検査、がんゲノム医療で行う遺伝子パネル検査まで実施可能です。

ROSEは英語でバラの意味です。検査の後にお疲れ様でしたと、バラの花をお贈りできればよいのですが、このローズ法で生検検査を一回で終わらせて患者さんの不安を軽減できれば、私たちとしてもとても幸いに思います。



EUS/EBUS-FNAやCTガイド下生検でのローズに携わる細胞検査技師、病理医師ら
写真：前列左から2番目 細田和貴(部長)

外来部 スタッフの紹介

外来部は、皮膚科常勤医の森先生と代務医師横田先生の診療以外に代務の糖尿病内科平野先生、腎臓内科立俵先生、眼科の立川先生の診療管理と、各科外来診療の調整を行っています。当院の外来診療コンピテンスは、がん専門病院のパフォーマンス以外に、かかりつけ医、地域の病院、在宅医・介護サービスと当院の地域医療連携・相談支援センターなどの協力とがん遺伝子パネル検査窓口のがんゲノム外来や遺伝性腫瘍に対する遺伝カウンセリング外来で成り立ちます。



写真：左から、^{たてまつよしただ}立俵良崇（腎臓内科）、平野美穂（糖尿病内科）、堀尾芳嗣（部長）、森真弓実（皮膚科）

公開講座をオンデマンド配信で行っています

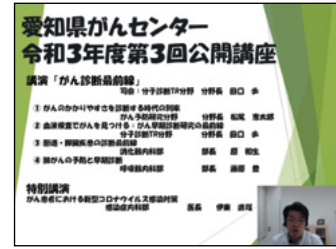
昨年度、新型コロナウイルス感染症対策により、開催を中止しました公開講座は、今年度オンデマンド配信として実施しており、すでに第3回まで配信を終了しています。

オンデマンド配信となり、近隣の方だけでなく、遠方の方や都合が合わず来られなかった方など、幅広い方々にご視聴いただいております。

次回の第4回は11月5日（金）14時から配信いたしますが、10月22日（金）から事前申し込みを受け付けますので、たくさんの方々の申し込みをお待ちしております。

申し込み及び詳細は、愛知県がんセンターのホームページをご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/cc/03kouza>



第3回の配信内容

医療連携室のご案内

対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分（祝日、年末年始を除く）
電話番号	052-764-9892（直通）
FAX	052-764-9897（24時間稼働しております。）
ホームページ	https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/ 病院トップページ右手にある「医療連携」のバナーをクリックしてください。 利用の手引や様式など、詳細を掲載しております。

外来診療案内

受付時間	午前8時30分～午前11時30分（自動再来受付機による受付は午前8時からできます。）
休診日	土・日・祝日、年末年始
診療科	消化器内科、呼吸器内科、循環器科、血液・細胞療法科、薬物療法科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科（サルコーマ外来）、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、眼科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、精神腫瘍科、緩和ケア科（ペインクリニック）、リンパ浮腫外来、リスク評価センター、がんゲノム外来
外来診療担当一覧	毎月1回、月初めに更新しています。詳しくはホームページをご覧ください。
休診情報	お電話またはホームページでご確認ください。

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911（直通）午前9時～午後5時（土・日・祝・年末年始を除く）

※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。（完全予約制・自由診療）

※精神腫瘍科、リスク評価センターは、予約のみの対応です。

交通のご案内

★公共交通機関のご案内

- 地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
- 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でのご案内

◎一般道路

本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西

◎高速道路

- 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
- 名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分

※詳しくはホームページをご参照ください。

